



#### 剪草除根

今年は例年になく 30 度を超えるような暑い日が続きました。そのため庭の除草や管理作業がおろそかになり、今月に先送りした方もいるのではと思います。しかし除草といっても庭主の考え方や草の種類によって取り組み方様々です。伸びるに任せ、放任状態をよしとする人は、せいぜい「草刈り」、低いものは「草むしり」で間に合わせますが、景観を著しく損ねたり、蔓延って隣人に迷惑をかけないことが前提です。さすが茫々は嫌だという人は、もう少し丁寧に道具を使い「草削り」や素手で「草むしり」をします。それでは手ぬるいとばかりに根を残さないよう「草抜き」をする。園芸店から除草剤を買ってきて徹底的に退治を試みる人もいます。この場合は、花を咲かせ種子を飛散させると無駄な労力お金を費やすことになるので、いずれにしてもタイミングを失わないように心がけましょう。剪定の「剪」は、切る、はさむ、摘み取る、滅ぼすの意ですが、古い中国の時代から「剪草除根」(せんそうじょこん)という言葉があります。読んで字のごとく草を刈り取って根を取り除くことであり、「災いを断ち、後世に禍根を残さない」ことを意味します。これが転じて、政敵とその一族を「根こそぎ」「根絶やし」にしなければ自分たちの安泰はないという例えに使われました。雑草と呼ばれた植物、もういらないと烙印を押された庭木にとっても恐ろしい言葉ですね。(かわはら)

#### キク

キクは、キク科キク属の植物です。キクは、日本の国花、天皇家の家紋に使われています。菊の歴史は日本文化と共にあり高貴な花として親しまれています。栽培されている菊のほとんど大部分を含みボーダーや切り花、展示用などに幅広く使われて人気が高いのは、魅力的で多彩な頭状花のためです。キクは初秋、中秋、晩秋といった開花時期や花の大きさ、形、習性によって分類され、早咲きのものほど耐寒性があり、水はけの良い腐熟した有機物を豊富に加えて、十分な日向で育てるのが良いです。アブラムシ、泡吹き虫、うどんこ病、白さび病など防除のため薬剤を散布。お庭の中で秋と言えば菊の花とシュウメイギクなどが身近で、ガーデンマムという呼び名で園芸品種も沢山出回っています。(たかはし)

#### コンパニオンプランツ

コンパニオンプランツという言葉を知ったことはありますか？少し難しそうな言葉ですが、簡単にいうと虫除けや生育促進などの効果がある植物のことです。組み合わせがいくつもあり違う種類、品種の植物を寄植えするだけでさまざまな効果が期待でき、家庭菜園に取り入れているという方も多いです。家庭菜園に野菜などと花を一緒に植えることで、昆虫をおびき寄せて受粉の手助けをしてもらいメリットがあります。逆にマリーゴールドは、害虫除けのコンパニオンプランツとして、家庭菜園で頼りになる存在です。害虫よりも「線虫」という土の中にいるミミズのごく小さい奴が減るのです。それもマリーゴールドの根が届く範囲ですから、それほど広くはありません。ただ、茎や葉を土に鋤き込んでも効果があるようです。こういったハーブ系の除虫効果は農薬ほど顕著には表れません。過大な期待はしない方がいいと思います。コンパニオンプランツは、どのような比率で混植したら良いかなど不明な点もあり、土質によっても効果の強弱はあると思われます。「この植物を植えたからもう大丈夫」というようなものではありません。マリーゴールドは虫を寄せ付けないと言われていたが、近年マリーゴールドも改良されてにおいが少なくなり、効果はあまりなくなってきました。コンパニオンプランツに頼らず野菜畑は野菜だけにして、防虫ネットなどを利用した方が良いと思います。

(ながやす)

## クスサン

クスサンが札幌に大発生しているという。大型の薄茶色の蛾で様々な樹木の葉を食べるのですが、幼虫は大人の女の人の差し指ぐらいになるので樹を一本丸裸にしてしまうほど大食漢です。空知もここ数年大発生が続いていますが今年は昨年ほどではない気がします。相談コーナーにもサクラの木の葉が幼虫に食べつくされたと相談がありました。クスサンは生まれたての黒い幼虫の時期は集団で暮らしています。その時期に見つけてくっついていてる葉ごと取って処理するか、薬剤を幼虫にかけると良いでしょう。私は今年は5月29日に砂川子どもの国のトチノキの葉で集団生活している黒い幼齢幼虫を確認しました。庭木がクスサンの被害にあった人は、来年、5月中旬から6月初めに黒い集団を探して対策をしてください。

(きのした)

## スズラン

多くの皆さんがご存じで北海道を代表する花の一つに数えられるスズランですが東北の高地や北海道に多く自生しています。一本の花茎に白い釣鐘型の小花が10個ほど吊下がり可憐な姿で人気であります。花には香があり花後に赤く丸い実ができますが実もふくめ全草が有毒植物なので注意が必要です。キミカゲソウ(君影草)の別名を持つスズランですが、園芸的に普及しているのは、ヨーロッパ原産のドイツスズランです。両者の見分けは、葉の影に咲くスズラン、葉の上まで出て目立って咲くのはドイツスズラン、花をのぞいたとき白無垢の花はスズラン、白い花のなかにおしべの基部が赤いのがドイツスズランです。また基本種の花色は白ですが、園芸品種にはピンクスズランや葉が縞もよりの斑入りスズランもあります。北海道にはスズランの自生地として平取町芽生(めむ)すずらん群生地や滝野すずらん丘陵公園が有名ですが今年訪れた礼文島でスズランの葉を多く見たので調べてみると礼文島にもたくさん大きな群落があるそうです。次回はスズランやレブンアツモリソウが咲いている季節に訪れてみたいなー。(いとう)

## 緑の相談コーナー Q&A

庭菜園に関する「Q&A」を連載で紹介しています。

Q. ナスの根本付近からも枝が沢山出ているのに実がつかない。花が咲いても落ちるのはなぜか。

A. 栽培時期があっていない・日当たりが悪い・気温が低い・株間が狭い・土壌が合っていない・水不足・肥料不足・連作をしている・害虫の被害にあっている・病害に合っているなどがありますが、今回の質問者の育成管理状況をお聞きした上で、剪定をしていないのが大きな原因のようです。ナスの木、定植後成長過程で2本又は3本に分岐します。この分岐点に一番花が咲きますが、これより下の枝はすべて取り除いてください。また、この一番花をそのままにして実を付けるか、取るか、諸説ありますが、私は、ここに実をつけることにより根から吸収した栄養素が、実に取りられ、木全体の成長が遅れ、分岐した枝についた花に栄養素が行き届かなくなり花が落ちる場合があります。昔から「ナスの花には無駄がない」と言われるほど、花が咲けば実になるという言葉通りです。実がつかなかったのは、分岐点に咲く一番花の処理と、下枝の選定、水不足、肥料不足が要因のようです。

ちょっと  
いっぷく



# ひとつき ひとバラ



文：田中 伸枝  
(いわみざわ公園バラ園)



## 第百六回

### ハイブリッドティーローズ アレックス レッド

Alec's Red

作出国：スコットランド

作出者：Cocker

作出年：1970年

ハーディネスゾーン：Z5

繰り返し咲き

交配：Fragrant Cloud(HT) × Dame de  
Coeur(HT)

アレックスレッドはスコットランド・Cocker 作出のバラです。明るい真紅色で半剣弁高芯咲きの大輪、咲き始めはたくさんの花弁を抱えながらややカップ状となって咲き始め、ふんわりと華やかな開く頃には気づけば稚いころころとした子からエレガントな大人の女性になっています(笑)秋花の発色は特に鮮やかで目を惹き、葉はマットな質感で濃い緑色ですので花色との対比が素晴らしいです。「赤色のハイブリッドティーなんてベタすぎるだろ」と思っていたけど、赤色にも色々あって、「やっぱり赤いバラも良いなあ〜」と思わせてくれるバラのひとつでもあります。RNRS 賞、ADR 賞、ARS 賞の三冠で病気の強さ、美しさ、香りの良さなどはお墨付きです！ただあくまでハイブリッドティーですので、凍害には注意です。春先のシバレが完全になくなるまでは油断禁物でしょう。

交配は赤味がかかったアプリコット色の 'Fragrant Cloud' とピンクがかかった明るい赤色の 'Dame de Coeur' です。花のエレガントさはお父さん似、色はお母さん似といったところでしょうか。どちらも香りのよい品種ですので、香りのよいバラを作りたいのかたかもしれない。'Dame de Coeur' はなんと、かの名花 'Peace' との交配から生まれたバラです。前述したとおりアレックスレッドも多数受賞している優

秀なバラ。おそるべし、ピース一族…です。実はこの交配に使用された2品種も当園の整形式ローズガーデンで見ることができません。残念ながら植栽場所はバラバラですが、「親の顔も見てやる！」という方は探してみてくださいね。

作出はスコットランド(イギリス)の James Cocker and Sons になります。Cocker さんは1841年から5世代続いているナーセリーです。1890年代からバラの栽培は始めていましたが、第二次世界大戦後、創業者の孫にあたるアレクサンダーモリソン(アレック)は妻と新しくナーセリーを作り事業を拡大し、1960年代からはバラに特化していったそうです。アレックスレッドがたくさんの賞をもらい、その後1976年に女王から王室御用達を与えられました。その後に作出したバラが、女王在位25年を記念し「シルバージュビリー」として世に出ることになるのですが、発表された1978年の前年にはアレックはこの世を去ってしまいました。夫の死後、妻のアンはバラの育種を行い変わった色や模様のバラを作出しました。1995年にはスコットランド園芸勲章を与えられています。アンさん、80代になっても現役で育種を続けていたそうです。スーパーおばあちゃんですね！

**【室内公園「色彩館」からのお願い】**当館では植物の引き取りを一切行っておりません。あらかじめご了承くださいませ。この時期になると、「うちではもう育てられないから引き取ってほしい」旨の問い合わせや、色彩館の前へ鉢植を置き去りにする（不法投棄）ようなことが増えます。処分してしまうのが心痛いのであれば、そうならないように樹形や樹高、特性などを考え計画的かつ責任を持って購入・栽培してください。育て方で分からないことは、当館の緑の相談コーナーへお気軽にお問い合わせください。

## 今月の市民園芸講座のご案内



- 10月8日(日) 13:00~15:00 早春を彩る球根を植えよう  
材料費：2,500円～(容器代別途) 定員：20名  
講師：高橋 かつえさん フラワーマスター
- 10月9日(月・祝) 13:00～ バラ管理スタッフのローズツアー・秋  
料金：無料 定員：40名 講師：バラ園スタッフ  
※当日参加可能。お時間までにバラ園入口看板前までお集まりください。

- 10月21日(土) 10:00~12:00 ばらゼミ® 冬囲いいろいろ。  
料金：無料 定員：40名 講師：古館 杏奈さん ローズグローウ

～11月1日 9:00から受付開始～

- 11月12日(日) 13:00~15:00 多肉植物の寄せ植えをしよう  
材料費：2,000円～(未定 広報11月号でご確認ください) 定員：20名  
講師：椿 豊さん Green Art 百々屋

- 11月25日(土) 13:00~15:00・26日(日) 10:00～12:00  
ローズヒップでクリスマスリースをつくろう  
材料費：1,500円 定員：各日10名 講師：バラ園スタッフ

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話：0126-25-6111 ホームページ：<https://iwamizawa-park.com/>

※資料ご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申し込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日3～4日位前までにお申し込みをお願いいたします。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。